



目次

- (1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ  
交通バリアフリー推進の集いのお知らせ 「バリアフリー優秀施設・活動大賞」応募は8/31まで  
交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について
- (2) ネットワーク参加団体からのお知らせ  
“国交省推奨”合宿型移送サービス運転協力者講習会  
第3回ピポ・ユニバーサル ミニ駅伝  
第2回交通バリアフリーフォーラム
- (3) エコモからのお知らせ  
国際福祉機器展に出展  
知的障害・精神障害のあるお客様への交通従事者向け対応マニュアルの作成  
「ゆっくり」「ていねいに」「くりかえし」 知的障害、精神障害のあるお客様への対応  
バリアフリー学習図鑑(CD-ROM)の公開  
船舶の救命設備に関するアンケートの実施  
らくらくおでかけネット  
情報誌「旅ばりっ!(創刊号、第2号)」を配布しています  
公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について
- (4) 行政からのお知らせ  
交通バリアフリー法基本構想策定状況(国土交通省)  
バリアフリー推進に関する行政評価・監視が実施される(総務省)
- (5) 各種催し物のお知らせ  
第5回地域まちづくりフォーラム  
観光ユニバーサルデザインセミナー  
ボランティアフェスティバルびわこ  
第11回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in Tokyo  
第6回西日本国際福祉機器展  
第30回土木計画学研究発表会(秋大会)
- (6) その他  
書籍に関して  
記事募集中  
お願い(必ずお読みください。)  
・転送先について  
・送付先について

コラム

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集いのお知らせ

第3回交通バリアフリー推進の集いを下記の通り、開催することになりました。詳細については後日お知らせ致します。

開催日時：2004年11月12日(金)

13:20~16:30 交通バリアフリー推進の集い

17:00~18:30 懇親会

開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター 小ホール(昨年同様)

なお、本年度も「バリアフリー優秀施設・活動大賞」の募集をいたします。自薦・他薦を問いません。詳細はホームページをご覧ください。

[http://www.ecomo.or.jp/itami\\_sengen/itami\\_index.html](http://www.ecomo.or.jp/itami_sengen/itami_index.html)

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

交通バリアフリー推進の集い(平成15年11月14日開催)の当日配付資料をご希望の方は、ご連絡ください。また、平成13年度1年間で、全国10カ所で開催しました交通バリアフリー推進セミナーの報告書を作成しました。また、当日配付資料もございますので、ご希望の方は、ご連絡ください。 FAX:03-3221-6674 E-mail:ecomomail@ecomomail.jp

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

“国交省推奨”合宿型移送サービス運転協力者講習会

移送・移動サービス地域ネットワーク団体連合会では、いち早くこのテキストを使用し、統一した講習内容で運転協力者講習会を開催しています。

開催日 8月28日(土)~29日(日)

会場 津田山オートスクエア セミナーハウス 神奈川県川崎市高津区下作延1823

定員 40名

普通自動車免許を有し、ボランティア団体やNPO法人等、市民活動による移送サービス実施団体で、運転協力者として活動しているか、活動を始めようとしている方。

参加費 17,000円

受講料、テキスト代、土曜の夕食、日曜の朝食、昼食、宿泊費、保険料を含む。

問合せ先 移送・移動サービス地域ネットワーク団体連合会

〒162-0828 東京都新宿区袋町24 岡田ビル2F

TEL&FAX03-5261-9009 E-mail [accessible-tic@pop16.odn.ne.jp](mailto:accessible-tic@pop16.odn.ne.jp)

第3回ピポ・ユニバーサル ミニ駅伝

競技スポーツのタイムレースではなく、チームの目標タイムを目指してふれあい、支え合いの楽しさを体験します。チームマネージャー、伴走ボランティアを含め10人/チームの仲間づくりを行います。現在、選手(小学生、60歳以上の方、視覚障害者、車いす使用者、健脚者)とボランティアの方(走路員、会場案内、障害者サポート等)を募集しています。

日時:9月26日(日)9:30~16:00 スズカケの広場9:30 集合

場所:東京都立戸山公園箱根山地区 新宿区大久保3-5-1

参加費:選手・ボランティア500円(小・中学生無料)

問合せ先:NPO コミュニケーション・スクエア21(CS21)ピポ駅伝係

TEL03-3350-1388 FAX03-5360-3633 E-mail:[staff@npocs21.com](mailto:staff@npocs21.com)

第2回交通バリアフリーフォーラム <http://www.jtbfc.gr.jp>

「エバ-ル e-ステーション構想」- 情報技術によって駅はどの様に変えられるか - をテーマに、「第2回交通バリアフリーフォーラム」を開催します。

日時:9月29日(水) 13:00~16:30

場所：赤坂区民センター：東京都港区赤坂 4-18-13 電話 03-5413-2711

参加費：無料

### プログラム

基調講演 「交通バリアフリー対策と関係予算について」

国土交通省交通消費者行政課長 加藤由起夫

事例報告 1 「15年度技術規格調査研究報告の概要」

社団法人交通バリアフリー協議会常務理事 利光国高

事例報告 2 「自主研究工バ - 州 e-ステーション渋谷駅調査報告」

社団法人交通バリアフリー協議会情報委員会 高山晴彦

事例報告 3 「渋谷駅における利用者動態研究」

東京大学工学部鎌田研究室研究生 新澤李枝

パネルディスカッション コーディネータ 東京大学大学院工学系研究科教授 鎌田 実

パ ーチスト 交通工コジ ー・ヒ リイ財団 岩佐徳太郎

独立行政法人交通安全環境研究所 大野寛之

(財)鉄道総合技術研究所 鈴木浩明

江戸川区役所 勝矢光信

(株)トミー 高橋玲子

渋谷区老人連合会 光安良一

申し込み締切期限：9月15日(水)

問い合わせ先：(社)交通バリアフリー協議会 フォーラム事務局 担当：五十嵐、竹内

Mail : b-tbfc@jtbfc.gr.jp FAX : 03-3584-0577 TEL : 03-3584-5032

### (3) エコモからのお知らせ

#### 国際福祉機器展に出展

来る10月13日(水)～15日(金)東京ビッグサイトにおいて開催される国際福祉機器展に当財団のブースを設置しますので、来館された方はぜひお立ち寄り下さい。

#### 知的障害・精神障害のあるお客様への交通従事者向け対応マニュアルの作成

「ゆっくり」「ていねいに」「くりかえし」 知的障害、精神障害のあるお客様への対応

このたび、国土交通省では知的障害のある方、精神障害のある方の基礎知識や、対応のポイントなどを当事者や専門家の方々の意見を参考にして、わかりやすくまとめ、全国の交通事業者に配布しました。交通事業者の方にこのマニュアルを活用することにより、公共輸送機関としての安全で快適な移動サービスの向上と、障害のある方をはじめとする多くの方のスムーズな外出、一層の移動円滑化に寄与しようとするものです。

#### バリアフリー学習図鑑(CD-ROM)の公開

子供達がバリアフリーや福祉に関する学習を進める上で、障害のある人達の日常の不便さ等を知り、ハード面のバリアフリー、ソフト面での(心の)バリアフリーを理解し、バリアフリー社会の実現を自分のこととして捉えるため親しみやすいCD-ROMを作成しました。現在、交通エコモ財団のホームページにて公開しています。是非ご利用ください。

[http://www.ecomo.or.jp/index\\_img/kaisetsu.htm](http://www.ecomo.or.jp/index_img/kaisetsu.htm)

#### 船舶の救命設備に関するアンケートの実施

日本船舶品質管理協会では日本財団の助成を受け 高齢者や身体障害者等(以下移動制約者という。)の救命設備に関する調査研究委員会(委員長 東京商船大学名誉教授 佐藤 準一氏)を発足させ、移動制約者に相応しい救命具のあり方や海上へ脱出する場合の退船マニュアル等ハード、ソフト両面の対応策を検討しています。

については、旅客船の救命設備のあり方について、旅客船事業者や移動制約者の福祉事業並びに

広く一般の方々のアンケート調査を実施しています。回答については、別添のアンケート調査票 (MS-Word or Adobe Acrobat)にご記入の上、下記のFAX又はE-mailまでお送り下さい。

なお、回答の締切は、平成16年8月25日まで。

T E L : 03-3253-6201 F A X : 03-3253-6204 E-mail : jsmqa@coral.ocn.ne.jp

(参考)旅客船の救命設備の現状及び海上への脱出パターン

また、船舶の救命設備については、下記のホームページでも紹介されております。

独立行政法人 海上技術安全研究所 <http://www.nmri.go.jp/bfree/lifesave/>

(社)日本船舶品質管理協会 製品安全評価センター <http://www.rime.jp/lifesave/>

#### らくらくおでかけネット

現在は、鉄道駅3,598駅、空港74、バス153、旅客船437ターミナルの情報を提供しています。最近の1日のアクセス件数は、約4,000件となりました。特に、携帯端末によるアクセスが増えています。また、ハンドル式電動車いすの鉄道利用が可能な駅が公表されています。なお、アドレスは下記の通りです。

アドレス:(パソコン版) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>

(携帯版=i-mode,j-sky) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>

(携帯版=EZ-web) [http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile\\_ez/](http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile_ez/)

情報誌「旅ぱりっ!(創刊号、第2号)」を配布しています

特定非営利活動法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンターが発行する「旅ぱりっ!(創刊号と第2号)」をご希望の方にお送りします。伊勢志摩方面のバリアフリーガイドとして、駅、飲食店、宿泊、レジャー情報が満載です。今回新たに第2号もございますので、ご希望の方は下記までご連絡ください。

FAX03-3221-6674 E-mail:ecomomail@ecomomail.or.jp

#### 公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアルを公開していますが、こちらは、あくまでも地域の市民や学生の皆様などが自主的に評価に取り組まれる時のために提供していますので、ご自由にお使いください。なお、実際に駅を評価される場合は、皆様の自主的な活動として、鉄道事業者の方にご連絡してください。

#### (4) 行政からのお知らせ

交通バリアフリー法基本構想策定状況(平成16年5月まで) (国土交通省)

基本構想を作成済みの市区町村 136市町村(146基本構想)

詳細に関しては、国土交通省のホームページをご覧ください。 <http://www.mlit.go.jp/>

#### バリアフリー推進に関する行政評価・監視が実施される(総務省)

総務省では、高齢者、障害者を含むすべての人が安全で快適な社会生活が送れるよう公共交通機関等のバリアフリー化を推進するため、交通バリアフリー法に基づく施策を中心として関係行政機関における施策の実施状況を調査すると発表しました。(平成16年7月30日総務省)

調査内容は交通バリアフリー法に基づく基本構想の策定状況と施設の整備状況などであるが、これにより鉄道駅等のバリアフリー化の状況が調査されることとなりました。

(5) 各種催し物のお知らせ

第5回地域まちづくりフォーラム

<http://www.city.yokohama.jp/me/tokei/site/press/shiryo/chiiikimachi3.html>

地域まちづくりの現状と今後の進め方について、市民のみなさんが話し合いをする場が設けられます。中田宏市長による基調講演や作家の山崎洋子さんのゲスト講演、市民との協働による地域まちづくりに関するディスカッションなど、様々な内容です。ぜひご参加ください。

日 時：8月28日(土) 14:00～17:30

テーマ：協働によるまちづくりの仕組み

定 員：500名

会 場：はまぎんホール ヴィアマーレ

(JR・市営地下鉄桜木町駅・みなとみらい線みなとみらい駅下車)

横浜市西区みなとみらい3-1-1 <http://www.yokohama-viamare.or.jp/>

観光ユニバーサルデザインセミナー

日 時 9月24日(金) 12:30 - 19:30

会 場 京成ホテルミラマーレ 千葉市中央区本千葉町15-1

JR千葉駅から徒歩8分 京成千葉中央駅直結

対 象 ユニバーサルデザインに関心のある自治体、企業の方々

主 催 観光ユニバーサルデザイン実行委員会(実行委員長石井貞徳旅行新聞新社代表取締役)

内 容 「基調講演」東洋大学建築学部教授 高橋儀平氏

「パネリストディスカッション」自治体/宿泊施設/運輸機関/NPO/利用者等の意見交換  
「懇親会」

参加費 18,500円(お1人様)

申込み・問い合わせ先 旅行新聞新社内同セミナー事務局 担当 鈴木

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-7-2 真田ビル

電話 03-3834-2718 FAX03-3834-3748 E-mail [suzuki@ryoko-net.co.jp](mailto:suzuki@ryoko-net.co.jp)

ボランティアフェスティバルびわこ <http://www.e-biwako.jp/13vf/>

日 時 9月25日(土)～26日(日)

会 場 滋賀県大津市、彦根市、草津市

第11回全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in Tokyo <http://www.tonancyo.org/2004/>

日 程：10月8日(金)～10月11日(月)の4日間

場 所：<第一会場>アルカディア市ヶ谷

<第二会場>日本大学会館

第31回国際福祉機器展 H.C.R. 2004 <http://www.hcr.or.jp/>

日 程：10月13日(水)～10月15日(金)

場 所：東京ビックサイト東1-6ホール

第6回西日本国際福祉機器展 <http://www.nishiten.or.jp/fukushi/>

日 程：11月12日(金)～14日(日)

場 所：西日本総合展示場新館

第30回土木計画学研究発表会(秋大会) <http://www.jsce.or.jp/committee/ip/index.htm>

日 程：11月21日(日)～23日(火)

場 所：山口大学工学部

(6) その他

書籍に関して

現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページへ、[http://www.ecomo.or.jp/barrier\\_free/bari\\_f\\_index.html](http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/bari_f_index.html)

記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、コラム等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールかFAXでお送りください。

E-mail : ecomomail@ecomomail.or.jp FAX : 03-3221-6674

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

このメールマガジンをご転送頂く際は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。 E-mail : ecomomail@ecomomail.or.jp FAX : 03-3221-6674

・送付先について

このメールマガジンをなるべくE-mailで送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。 E-mail : ecomomail@ecomomail.or.jp FAX : 03-3221-6674

## コラム

全日空では、手話ができる客室乗務員を配置すると発表しました。客室乗務員の左胸に目印の特性バッジを着けて対応すること、航空会社では初の試み。当財団も交通事業者の方を対象に全日本聾唖連盟の協力を得て手話教室を開催していますが、その受講生の熱心さは素晴らしいものがあります。昼間の仕事を終え、疲れているなか毎週通い夜遅く帰宅されていますが、この方々は1年間でかなりハードな勉強をしていますので、来年の春には、何処にも負けない手話の分かる交通事業者職員が誕生します。

また、この手話教室はボランティアで、交通事業者の先輩方々と、このメールマガジンの仲間(いずれも10年ぐらいの手話の大ベテラン)が講師のアシスト役として、協力してくれていますので、その上達ぶりは格別です。

この時期、猛暑で体が大変疲れているときです。体を休めることが一番です(自己都合解釈)。当財団へ連絡されて職員が休んでいる場合はご容赦の程を・・・。